

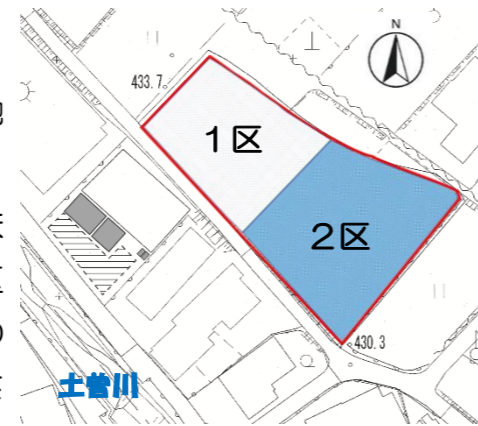
# 飯田市 座光寺

## 五郎田遺跡 発掘だより No.2

4月から始まった調査も、早4ヶ月が経ちました。

発掘調査は、調査区内での排土処理の関係から、2地区に分けて設定し、南東側の2区から行っています。

7月末の時点で、調査を行っている建物跡は23軒ほどですが、この他にもまだ数軒あります。また、調査区内に広がる土坑の中には柱穴が多く、確実な数はまだわかりませんが、掘立柱建物跡も相当数あることが予想されます。



五郎田遺跡調査範囲

### 弥生時代から平安時代の集落跡

竪穴建物跡は、弥生時代から平安時代までのものを確認しています。

各時代の遺構が、はげしく重複していることから、遺構をみつけるのには大変苦労しました。

### 古墳時代の竪穴建物跡

これまでに、遺構の様子が明らかとなったものについて紹介します。

古墳時代の竪穴建物跡（SB1）は、ほぼ全体の形が明らかとなりました。注目は、竪穴建物跡の中央から北側を中心に広がる炭化物です。床面よりも高い位置でレンズ状に堆積し、炭化物の中からは高杯など、完形に近い土器が出土しています。廃棄後、埋没していく途中で意図的に火をたいたものと考えられます。時期は、カマドが造られる前の5世紀前半（約1,600年前）と考えられます。



図面の作成も大忙しです。



炭化物・土器検出状況

### 様々な石器

石鏃や打製石斧のほか石包丁など調査区からは様々な石器がみつっています。弥生時代の遺構からはもちろん、弥生時代よりも後の時代の遺構や検出面からも多く出土しています。後の時代まで石製の道具が残るとい、飯田地方の特徴をみることができます。

また、勾玉や管玉もありますが、1つが住居の埋土中からの出土である他は、遺構外からの出土です。



だせいせきぶ  
打製石斧



いしほうちよう  
石包丁



まがたま  
勾玉

### 発掘作業員さんを増員しました！

当初の予定よりも遺構が多くみつかったことから、順次作業員さんを増員して、7月からは20人体制で作業を行っています。調査は、10月末までの予定です。

暑い季節になりました。水分補給やこまめな休憩をとり、熱中症等、体調に気をつけて頑張りましょう！



集落の様子が、  
だんだんとわかっ  
てきています♪

飯田市 五郎田遺跡 発掘だより No.2  
担当者：藤原直人 鈴木時夫 遠藤恵実子  
電話：080-9560-1354  
長野県埋蔵文化財センター飯田支所  
住所：飯田市北方297-5  
電話：0265-49-0736  
発行 令和3（2021）年8月20日  
HP：<http://naganomaibun.or.jp/>